

楽

GAKUJIN

人

世に役立つ人物の養成



2024.4

Vol. 72

谷岡学園広報誌



学校法人

谷岡学園

TANIOKA GAKUEN EDUCATIONAL FOUNDATION

- 1 新年度へ向けて 理事長挨拶
- 2 令和6年度 事業計画
- 9 学園インフォメーション
- 13 定年退職者ご挨拶
- 14 新任教職員紹介

新年度へ向けて

学校法人 谷岡学園 理事長
谷岡 一郎



世の中は激しく動き続けているようです。やっとコロナ禍を抜けたかと思うと、インフルエンザがやはりはじめ、加えて能登半島の地震などの自然災害が起きました。我々は予期せぬ出来事に遭遇することを避け続けるより、ある程度は起こるものと仮定し、どんな時にでも対処できるようにすること、そして的確に対応できる体制作りこそが必要なのだと考える次第です。

ウクライナとロシアの戦争も相変わらず続いています。選挙に対抗馬で出ると、いつの間にか殺される国は恐くてイヤですね。少なくとも我々は、より人権の守られている国にいることを感謝しています。

スマホ脳

スウェーデンの精神医、アンデシュ・ハルセンが書いた『スマホ脳』（新潮新書、2020）という本を読みますと、スマホによって起こりうる多くのマイナーな効果ですでに起こっている。そしてそれが、日本人のすべての年代の人々に出始めて

いるようです。スマホは睡眠時間を削り、集中力を弱め、ストレスやうつ症状を増やし、IQまで低下させる。他にもいろいろネガティブな現象を引き起こす原因となつているようで、それは多くの研究で指摘されていますし、検証もなされているというのです。結果として幸せ感が薄れ、以前より不幸に感じる人々が増えているとのこと。

道を歩いてもスマホの画面を見続ける人、多いですねえ。我々は学生・生徒・園児らを教育する立場ですから、スマホの使用についてもまず自分が意識し、お手本となる行動をする必要があるでしょう。いつも私が言っているように、1日1時間でもいいですから、スマホを自分からオフにするように指導してください。ちょうどハンセン医師も次のようにアドバイスをしています、「毎日1〜2時間、スマホをオフに」と（同書、p.244）。

私学法改正

令和6年度は、私学法改正に従って内

部を改革する年になります。リーダーたちも多かれ少なかれ入れ替わることとなるでしょう。しかし我々私学人にとって、やるべきことが変わるわけではありません。変わらなず、自分たちの信じる方向に向かつて人を育てるのみです。そしてその信じる方向とは、建学の理念そのものと考えてさしつかえありません。

正しいと思つた方向に向けて、改革は躊躇しないでください。人間は現状に問題がないと、ついそれを継続しようとすめるのですが、水は流れなければ濁っていくように、同じ場所に留まることは避けなくてはなりません。どこをどう変えるべきか、現場の人々で常に考えるようにしてください。それでも結論が出ないなら、設置者（理事会）に投げかけてみてください。ただしその時でも「どうしましょうか」ではなく、「（AとBの）どっちの案で進むべきですか」といった具体案でお願いします。

特に各校のリーダーたちに言っておきます。あなたがたは人を育てる責任者で

あり、新しい決断ができるからこそリーダーなのです。また近い将来リーダーになる若い方々、あなた方も日頃から自分を鍛えるようにしてください。「もし私がリーダーならどうするか」と、常に考えるのです。

上に立つ者

私が嫌いな人間は、俗に「ヒラメ人間」と呼ばれるタイプです。ヒラメは上ばかり見て下を見ることはありません。つまり上司の言葉のみに従い、こびへつらう一方で、部下などに（自分より弱い者に）いばりちらすような者と考えてください。

上に立つ者は、その逆をしてほしいのです。上に対して正しいと思つたことを堂々と述べ、部下には頭ごなしに叱つたりせず、やさしく指導してあげるような人間です。かく言う私に対しても、必要と思ふ意見をどんどん投げかけてください。評価しこそすれ、うらんだりする人間ではありませんよ。ほんと。

本学は、「広義の読解力」の育成を教育の基軸とした教育活動を行うことを目的として教育課程等、将来構想を企画し、開学80周年を視野に教育活動を実践していきます。そのために令和6年度から令和10年度における中期計画を新たに策定しました。その目的を達成するため、令和6年度の事業計画を以下のとおり策定し、学修者本位の教育展開による学びの質向上を目指します。

2024年度(令和6年度)事業計画(要約)

【基本領域】

選ばれる大学であり続けることを念頭に、建学の理念の4つの柱を軸にこれまで取り組んできた実学教育、新たな教育方針である広義の読解力を体系立てて整理し、教育プログラムを展開する。他方、これまでの学生募集状況を振り返るとともに、将来構想企画に基づき各施策の展開、学部・学科改組も視野に入れた教育研究組織・学位プログラムの見直しの検討を進める。

【経営領域】

◆ 受験生、保護者、教員に対する広報活動へ注力(Web広告及びSNS広告の精選・強化、大学案内及び公式ホームページの充実・リニューアル、高

校教員との関係構築、オープンキャンパスの企画・実行)

◆ 系列校及び協定校、指定校との良好な関係維持、専願入学者層の確保

◆ 補助金等の外部資金の獲得における、実態や要件に照らした適正な申請及び執行

【教育領域】

◆ 将来構想企画の進捗、自己点検・評価活動との関係性を考慮したIR活動の制度設計

◆ 学修成果の担保、帰属意識の醸成を目的に、きめ細かなサービスを効率よく展開するための体制構築(DX推進)に向けた意識改革

【教育】

◆ 学位プログラム、特色教育について、将来構想企画委員会での検討結果の具現化

◆ 時代の変化に応じた教育の実現と学修者本位の教育の展開による、学びの質の向上(主専攻科目履修モデルの更なる浸透、OBPコース及びGETコースの適正な運営、AI・データサイエンス教育の推進、シラバス第三者チェックによる学修内容の質保証等)

◆ 教育環境向上(教室設備更新、BYOD導入準備等)

【学生支援】

◆ 生涯にわたって学び続ける人材を育

成するための学生生活支援・課外活動支援の体制構築

◆ 将来構想企画委員会での検討結果の具現化

【キャリア形成・就職支援】

◆ 学生が望むキャリア形成、進路決定に資する環境整備、IR活動と連携した学生の活動促進及び支援

◆ 社会的評価につながる就職実績の増加・蓄積も意識した、学生のキャリア形成支援(キャリア関係科目との連携によるキャリア形成意識醸成、企業と学生との接触機会創出、就業体験への参加促進、U・I・Jターン就職推進、資格講座運営)

【研究領域】

◆ 学内の研究活動推進(学内研究制度検証及び利用促進、競争的研究資金獲得)

◆ 新たな知と価値を創造し、持続的に研究成果を社会へ還元する仕組みづくり(大学院、各研究所・博物館による公開講座等を通じた還元、刊行物及び学術情報リポジトリを通じた研究成果公表)

【運営領域】

◆ 内部質保証の取組推進(自己点検・評価によるPDCA展開、教職協働によるFD・SD、委員会組織の整理・体系化、DX・IRへの意識向上)

【周辺領域】

◆ 学内環境整備(サーバ等更新、施設設備大規模改修、授業用設備充実)

◆ 組織的な産官学連携推進(地域や自治体との有機的連携推進、学生・教員・地域との協働によるスポーツイベント実施、フィールドワークセミナー活動、国際化推進)



02 神戸芸術工科大学

本学が目指す人材育成に向けて、取り組んでいきます

- 神戸芸術工科大学は、谷岡学園の「世に役立つ人物の養成」を建学理念とし、1989年に芸術工学分野における「科学と芸術」の融合をテーマに開学しました。その後、4つの柱として「思いやりと礼節」「基礎的実学」「柔軟な思考力」「楽しい生き方」を掲げ、創造性豊かな研究者や指導的実務を担うクリエイターを養成しました。デジタル技術の急速な発展、メディアの変化、国際化などの社会や産業構造の変化に伴い、個別の専門的技術と同時に総合力を求める方向へと変化してきたため、個人の能力を最大化させる従来のコンセプトに加えて、多様な技術が横断的に協力しあつて大きな目標を達成する「総合力」を育成する教育体制を構築する必要があります。また、各自が主体的に課題を発見し、解決方法を考え提案できる応用力を育成する必要があります。
- 以上の課題に対応するため、2024～2028年度において、次の課題に取り組みます。
- ①従来の7学科を廃止し、芸術工学の学域として4つの融合分野を設定し、「建築・環境デザイン学科」、「生産・工芸デザイン学科」、「ビジュアルデザイン学科」、「メディア芸術学科」の4学科として再編し、併せて学費の改定を行います。
 - ②基礎教育では、視野を広げるため、多様な分野を学べるような科目設定をします。
 - ③芸術工学基礎を見直し、専門分野に共通する表現の基礎、デジタル時代に対応したコンピュータの基礎、及び単位互換や国際連携に関する科目を集約します。
 - ④大学院芸術工学研究科では、教育研究の質保証を含め、バランスのとれた学費の改訂を行い、分野の広がりや留学生の急増が目立ち、収容定員をはるかに超える在籍者数となっていることから、今期中に入学定員の見直しを図ります。
- 大学を取り巻く環境では、神戸市の大学間プラットフォーム形成に協力します。また、国内外の大学の機関連携を推進し、教育研究の拡張をはかり、本学の魅力を改めて顕在化させ、ブランド力の強化に努めます。



03

大阪商業大学高等学校

4つのコースの充実

建学の精神である「世に役立つ人物の養成」のもと、制定したスクールミッションおよびスクールのポリシーに沿って、教育方針の策定、そして生徒、保護者、地域へ周知と浸透を図っていきます。

グローバル商大コースでは従来の各種検定対策はもちろんのこと、進学対策の「まな部」の充実を図ります。またそれらの実践のために、土曜日の授業のあり方について、学内で検討を重ねていきます。文理進学コースでは内発的動機づけが学習意欲向上に繋がるものとして、昨年度より探求活動を行う複数のサークルを設定しました。今年度は更なる充実を目指し、プログラムの充実を図ります。スポーツ専修コースでは、今年度入学生より、3年後の進路選択の幅を広げられるよう、学習意欲が高い生徒に対して国語と英語の取り出し授業を開始しました。デザイン美術コースでは、デザインのスキルを高めることはもちろんのこと、グローバル商大コースと同様に「まな部」で学習習慣を確立し、進路目標達成を目指します。また生徒たちの意欲向上および進路の選択肢として、神戸芸術工科大学との連携を更に強めていきます。



コース別に行き先を設定した修学旅行を昨年度初めて実施しました。今年度も引き続き各コースの目的に沿ったプログラムを準備し、実施するために検討を重ねています。

4つのコースの充実、そして発展を常に検討して、魅力ある「選ばれる学校」を目指していきたく考えています。

04

大阪商業大学堺高等学校

スクール・ミッション“商大堺の樹”～世に役立つ人物になるために～



「あなたは樹、一本の樹、無限の可能性をもつ一本の樹、高等学校という時間・場を通して大きく成長することでしょう。その基盤となるのは、根、商大堺という空間、商大堺の先生との交わり、安心して過ごせる環境で、大地から水や養分を吸収します。その水や養分は、「幹」を通る間に、「学ぶ習慣」、「生きる習慣」としてあなた自身に蓄えられます。それを彩るのは、楽しい学校生活。身につけた「自ら表現する力」、「たくましく行動する力」が未来を切り拓く糧となることでしょう。卒業後、あなたは花開く存在となり、自らを信じ、社会を支える礎となります。そして、あなたの築いたものは、次の世代へと繋がっていくのです」

商大堺を象徴するスクール・ミッション「商大堺の樹」、この樹を大きく育てるため、主体的

に高校生活をおくるための取り組みを令和6年度のテーマとします。昨年度からスタートした「ゼロチャイム」。授業のチャイムをなくして自ら時間管理しています。令和6年度は、「Feel my own Growth」プロジェクトとして、自ら成績を意識する取り組みをはじめます。また、読解力養成のためのリーディングスキルテスト、認知能力を高めるためのコグトレ、記憶力定着のためのモノグサなど多彩なツールの導入、進学講座のリニューアルや英検対策講座の新設などで成長を支えます。もちろん明るく元気な商大堺は健在です。外部体育館での体育祭実施、学校&ホールでの文化祭、商大堺生のエネルギーを爆発させます。伸び行く商大堺を見守ってください。



05 大阪緑涼高等学校

地域に愛され信頼される学校を目指します

教職員が一丸となり、建学の理念に基づく教育を行います。昨年度制定したスクール・ミッションおよびスクール・ポリシーに沿って、教育方針を制定し、生徒、保護者、地域へ周知と浸透を図っていきます。また、藤井寺市との連携協定に基づき地域連携を強化・推進し、地域から愛され信頼される学校を目指します。

ICT機器を授業の効率化や生徒のモチベーションを高めるツールとして利用することに留まらず、リモート授業やグループワークにも活用し、個別最適な学びと協働的な学びを実現できる教育活動を行います。

普通科総合進学コースは、5系統の教育、特に探究活動を充実させ、「なりたい自分」に一步でも近づくように学習を進めていきます。

保育系進学コースは、保育技術検定1級の取得を目標に、地域や大阪商業大学附属幼稚園の協力を得ながら実践的な学習を行います。

文理ハイレベルコースは、個々の学力に応じたサポートでワンランク上の難関大学への進学を目指します。

調理製菓科は、養成施設とし

て食に対する実践的な力を身に付け、製菓衛生師コースは、製菓衛生師国家試験合格を目指します。また、調理師コースは、調理師免許全員取得を目指します。



06 大阪商業大学附属幼稚園

主体性を育て、楽しく生きる

学習指導要領の改訂では「学んだことが『生きる力』となって、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、幸せを実現してほしい」という願いが込められ、主体的・対話的で深い学びの視点から教育実践するとされています。

創立70周年を迎える本園は、過去からこの視点を持って、主体性を育むため、大人との対話、子ども同士の話し合いを大切にしています。

本年度は、自ら先を切り開く強い精神と友達を大切にして許し合う優しさを併せた「豊かで、たくましいところ」及び生きる力と考える力を育てたいと考えています。

具体的には、より一層の多様な体験を通して考える力を育み、対話を重視して主張する力と聞く力を育て、遊びの中の「気付き」「試行」「表現」の繰り返しを大切にして「小学校につながる力」を育成します。また、独創性を大切に「やってみるころ」「嫌なことも楽しいことに換えていく」「期待して、好きなことを見付けるころ」、やり遂げるための「目的を持つころ」の3つのころを育てます。さらに、家庭でも目標を持って生活し、持てる力を発揮して「楽しく生きる」ことができるよう家庭との連携も重視します。

一方で、昨年度オープンした分園「そよかぜ」で行う預かり保育

の定員拡大や未就園児保育（プレスクール）の対象者拡大により、園児確保に努めます。また、全日本私立幼稚園幼児教育研究機構が開発した学校評価実施支援システムである「ECEQ（イーセック）」に取り組み、公開保育を実施し、外部の視点を導入して教育の質向上につなげたいと考えています。



学園全体の発展を目指して戦略的な組織運営を行う

総務課

学園全体及び関連グループ会社の健全な経営を視野に入れ、設置校全6校及び3社の今後を見据えた、学園全体の組織運営計画(総務課)、人事計画(人事課)、経営計画(財務課)等が互いにリンクした企画・立案を法人3課による協同作業により推進します。また、戦略的な組織運営を行うことを目標に令和6年度は以下の業務を重点的に取り組みます。

【学園組織運営の健全化・適正化・円滑化・効率化の推進】

左記の重点施策を企画・立案し、タイムリーに実施します。

○令和7年度改正施行の私立学校法に向けた寄附行為改正及び諸手続きの検討・実施

○各設置校の中期計画(令和6年度以降の構想)から想定される組織運営の改編と既存組織運営の検証及び必要に応じた手続きの準備

○3高等学校及び大阪商業大学附属幼稚園(分園含む)の生徒・園児の募集定員確保に向けた各種施策の支援及び提案

○学園創立100周年に向けた事業の企画・立案及び実施

○関連グループ会社の経営改善及び発展計画に向けた支援の実施

○各設置校の補助金獲得に向けた業務スキルアップの推進

○所有不動産の有効利用及び処分等の推進並びに事業資金の確保

【学園施設の維持管理及び規模の適正化の推進(関連グループ会社を含む)】
情報収集した各設置校(関連グループ会社含む)の将来構想を踏まえて、学園創立100周年に向けた施設整備計画の企画・立案・実施及び支援を行います。

○各設置校の施設・設備の整備
○サテライトオフィスの有効活用策の構築及び今後の展開
○TTSセンターの有効活用策の構築及び今後の展開
○収益事業施設の改修(TTSセンター、U・コミュニケーションホテル)

各設置校の認知度向上を図る学園広報を推進するとともに、各設置校広報の充実・発展のため各種広報支援を行います。

○学園設置校の取り組みに対する情報収集及び情報発信・共有の推進
○学園創立100周年記念事業の広報として、ロゴマークの活用・浸透及び100周年記念事業サイトを含む学園ホームページリニューアル並びに各種広報戦略の検討・実施

人事課

令和6年度は、引き続き戦略的人事・業務計画の策定と計画的な人事企画の実施を推進するとともに、労働関係法令改正に適正・機敏に対応し、就業規則などの人事諸規程について、昨今の社会情勢に適應する内容へ、改正検討を進めます。

【教員新入事制度の構築】

中長期採用計画、退職金制度を含む賃金関連制度検証、評価制度導入といった諸課題について、設置校全教員と、CSの観点から、認識理解を慎重に図りながら、具体的に制度構築を進めます。

【専任職員人事制度の充実展開】

学園の永続的な発展を目的に、更なる業務改革の推進を図ることを第一義に取り組み、目標管理制度・職能資格制度・能力開発制度、人事評価制度および賃金制度の改定・適正運用に繋げ、進展させます。

併せて学園の将来構想を見据えた採用計画並びに採用試験方法の再検証、さらに改正した再雇用制度の適正運用と検証をし、将来的な組織強化に繋がります。また、特別職員人事制度も体系的・効果的に推進し、適正な採用・配置を行います。

【経営安定に向けた人事諸施策】

CS活動の展開により、構成員の帰属意識の高揚を目的として、福利厚生制度の拡充に向け、令和4年度に導入した企業年金制度の周知と加入者増加施策、健康管理啓発促進、ハラスメント対策の強化、各種福利厚生事業の利用促進などを行います。

財務課

学園の中期の展望に立った教育環境整備を安定的に進めるため、学生等の満足

度を十分に勘案し、教育研究の質の低下や極端な負担増を伴うことなく、収支バランスが図れた財務運営、財政基盤の安定化、財務会計事務の効率化・適正化を計画的に図ることを念頭に、以下の業務を重点的に取り組みます。

【収支バランスが図れた財務運営】

令和6年度においても、学園全体並びに各設置校の収支状況を迅速に把握し、収支予測の精度向上を目指すとともに、各設置校の将来構想を視野に入れた中期事業活動収支計画の策定、中期施設設備計画・奨学金等の財源確保となる5年間の中期資金収支計画の策定、中期経営判断指標となる財務指標の策定を進め、事業活動収支の基本金組入前収支差額が黒字決算として維持できるよう予算編成を行います。

【財政基盤の安定化推進】

学園創立100周年事業に向けた寄附金等による資金の確保や、各設置校の老朽化した施設の改修費用を考慮し、今後の中期財政計画を策定していきます。

その上で、収支均衡のある中長期財政計画の再考を行い、施設設備整備となる引当特定資産の計画的留保・取崩を行うとともに、安定した運用資金の留保を目指します。

【会計事務の効率化と財務管理の適正化】

財務システムによる会計処理については、国の制度改正や使用者ニーズを充分考慮して更なる機能向上を図るとともに、電子帳簿保存法改正、インボイス制度への対応を検証し、適正な運用を行います。また、会計基準に定められた基本原則を遵守した会計処理を推進することとし、設置校の会計処理と決算事務の体系的整備、資金管理の強化を進め、更なる適正化を図ります。

監査室

学園の健全経営の維持、及び社会的信頼の保持に資することを目的として内部監査を実施します。また、内部統制、ガバナンス機能を強化するために監事、監査法人との連携を図ります。

【内部監査の実施】

○定期監査として、事務分掌に則した事

務運営状況、中長期計画・事業計画策定プロセス、及びその基となるデータの活用状況の確認を5部門に対し実施します。

○フォロワーアップ監査として、過年度の内部監査では是正・改善事項が未完了の項目に対し改善状況を確認します。

【監事、監査法人との連携】

意見交換、情報共有の場として各種報告会・懇談会等を実施します。また、監事監査の一環としての内部監査立会の実施、及び監査法人による会計監査を支援します。

【公益通報窓口への対応】

運営している学園内窓口では、外部窓口である担当弁護士と連携を図り、通報・相談を受け付けます。また、早期発見、未然防止を図るために教職員への情報提供を推進します。

高校企画室

学園3高校の更なる充実・発展を目指し、特色化を図ると共に3高校間及び設置大学等との連携事業について調整を行います。

また、当室は、高校に寄り添い、3高校が教育活動をよりスムーズに行えるよう支援すると共に法人本部と情報共有及び連携を図り、調整を行います。

そして、3高校教職員から安心・信頼を得られるよう、業務を遂行していきます。

【学園設置高校の将来構想に関すること】
3高校の将来構想及び特色化について、法人本部と連携を図り、支援していきます。

【学園設置高校間の連携に関すること】
3高校のスケールメリットを活かした効率化・経費削減等の検討を進めます。

【学園設置高校と大学等の連携に関すること】
2大学及び3高校の更なる連携強化に向け、検討・協議を進めます。

【その他学園設置高校の企画に関すること】
高校関係法令の研究、3高校への支援策検討及びICT教育への対応等高校支援体制の構築等を進めます。

【情報収集と分析】

高校版IR機能の充実に向け、各種データの収集・分析を進めます。

08

ティジャー・テック

talk the talk and walk the walk / 有言実行

弊社の業務の基本は、学生と教職員の皆さまが豊かで有意義な時間を過ごすための環境づくりをお手伝いすることです。

本年度の事業計画

近年、様々な分野でAIを活用する場面が増えてきました。本年度は、弊社でもAIと人、それぞれが持つ能力を活かしながら仕事の精度向上と効率化を図ります。AIの特化したデータ量と人間の柔軟な創造性や判断力を融合し、独自の視点で学園内外に向けた新しいアプローチをしてまいります。

本年度の取り組み

有言実行

目標・目的を達成するために、口先だけでなく具体的な計画を組み立て、実行に移してまいります。有言実行の精神を持ち、仕事に対する責任感や行動力で学生や教職員の皆さまに今まで以上のご信頼を頂けるように努力いたします。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



笑顔とコミュニケーションを大切にしています

09

U・コミュニティホテル

地域社会から親しまれ、信頼されるホテル

U・コミュニティホテルは、学校法人谷岡学園が学園の収益事業並びに教育研究の活動支援、地域社会との融合をコンセプトに所有するホテルであり、弊社はこのコンセプトに合う会社となるよう経営管理及び運営を行っております。

国内訪日客数も戻りつつありますが、近隣に競合するホテルの開業なども予定されており、弊社ホテルを取り巻く環境は未だ厳しい状況下にあります。しかしながら、ホテルスタッフ全員が日々の運営・接客・創意工夫を積み重ね、お客様満足度の高評価を常に得られるように努力しております。

弊社ホテルは学園教職員様の福利厚生の一環としてグループ優待割引もごございますので、宿泊・レストラン・会議室・ホールのご利用をお待ちしております。

本年度も学園のご協力のもと、ホテル経営理念を具現化させるべく信頼され安全安心な宿泊サービスを提供できるホテルとなるよう邁進して参ります。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

【本年度の主な取り組み】

- * 財政改善に向けた売上向上策の企画・推進
- * 経営理念の実践
- * ホスピタリティに溢れたホテル環境の創造
- * ホームページのリニューアルとインバウンド客の獲得



10

神戸デザインクリエイティブ(アニタス神戸)

アニメ制作部門の再構築と制作環境の整備

神戸デザインクリエイティブは、デザイン・アート・メディアに関する企画・運営、制作・印刷及びワークショップ等の事業を展開するために設立されました。また、アニメーションの制作部門としてのスタジオ(アニタス神戸)を設置しています。

アニメ制作部門は、これまでに築き上げてきた活動による信頼等の維持・向上に努め、新たな進展に向けて制作部門の再構築の検討、アニメスタッフの確保を行い、充実したアニメ制作の環境整備を進めます。

営業企画部門は、学園の設置校、特に神戸芸術工科大学との連携により、卒業生のデザイナーやアーティスト等による事業の展開・推進を図ります。

引き続きご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



令和5年度 主な制作アニメ作品(仕上)

- 機動戦士ガンダム 水星の魔女
- 僕のヒーローアカデミア
- 名探偵コナン
- Re:ゼロから始める異世界生活
- 文豪ストレイドッグス
- ポケモンTITAN
- わたしの幸せな結婚
- 盾の勇者の成り上がり
- カードファイト!!ヴァンガード Divinez

11

学校法人至学館

「人間力の涵養」継続と発展を目指して



本学園は令和7年に学園創立120周年を迎えます。これからも持続可能な社会の実現に向けて、社会や経済の情勢に柔軟に対応しつつ、建学の理念「人間力の涵養」のもと、時代に即した学校運営の一層の充実に努めていきます。教育は肩車、今後も教育研究や学修環境のさらなる充実を目指し、令和6年度も各設置校の施設・設備の整備改修を計画的に進めていくとともに、私立学校法改正に係る対応をはじめ、学園の財政基盤の確立、教職員の職場環境の充実や安全と健康管理等々に取り組んでいきます。

12

至学館大学・大学院

「挑戦」と「成長」



令和5年度をもって至学館大学短期大学部は70有余年の歴史に幕を閉じましたが、そのDNAを引き継ぐ健康科学部体育科学科が開設3年目を迎え、順調に定員を充足させながら教育をつないでいきます。令和6年度は大学院健康科学研究科で新たな教育課程の運用、健康科学部こども健康・教育学科では新たなコース設定に取り組んでいます。また、本学の競技スポーツを統括する組織「アスレティック・デパートメント」による学生アスリートへの全般に亘るサポート支援の推進をはじめ、今後も多様な学生のニーズに対応しながら教育・研究活動の向上を図っていきます。

13

至学館高等学校

「自立・友愛・共創」



本校は感染症に注意しつつ新たな時代を共創します。令和5年度は文化祭を保護者参加で実施し、キッチンカーや模擬店でにぎわいました。体育祭は日本ガイシホールにおいて保護者参加で実施するなど、コロナ前の活気を追いつつあります。部活動・各種検定・模試といった活動も活性化しています。教職員一同、生徒の明るい笑い声の響く校舎に幸せを感じています。進路は至学館大学をはじめとして、国立大学、難関私学に多数進学を決め、3年生の高校生活アンケート進路満足度も93%がほぼ満足しているという結果となり、今後も満足度の高い学校づくりに邁進します。

14

至学館大学附属幼稚園

「やりたい」が発揮される保育を目指し



附属幼稚園では、幼児期における直接体験を通じた遊びの重要性を踏まえ、ICT機器を活用した保育を積極的に展開しています。年長クラスでは、電子黒板を効果的に活用し、物事への興味・関心を喚起し、より進んだ探求し得た知識を、クラスの仲間と共有しています。さらに令和6年度から、年長クラスへiPadを導入し、調べるツールとしての活用や、クラス内でのプレゼンテーションを通じて、園児同士で情報共有を図り、子どもの自主性や、対話、協働性を可視化したうえで、学びの向上につなげていきます。

神戸芸術工科大学 学長就任挨拶

この度、神戸芸術工科大学学長を拝命いたしました。建築の碩学でいらした吉武泰水初代学長と谷岡太郎前理事長の夢を乗せて開学し、その後鈴木成文二代学長、土肥博至三代学長、齊木崇人四代学長、佐藤優五代学長と谷岡一郎現理事長、そして多くの教職員、多くの学生の方々の手によって築かれてきた本学の伝統を継承させていただけることにこの上ない誇りを感じております。また、革新的な学術としての「芸術工学」を標榜してきた本学のチャレンジ精神が若い方々に引き継がれ、世界の未来を切り拓いていくであろうその時を、仲間の一人として体験できることに、とてもわくわくいたしております。

48年前、私は生まれた街である神戸を離れ、東京の大学に入学、その後ずっと東京で暮らしてきました。この度半世紀ぶりで神戸に戻って来られたこと、そしてその神戸から新しい芸術工学の風を世界に届けられるであろうことに興奮いたしております。学生や教職員の方々と大いに楽しみながら神戸芸術工科大学の発展に貢献してまいりたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願いいたします。

神戸芸術工科大学 学長 松村 秀一

- 生年・出身:1957年 神戸市 ●最終学歴:東京大学大学院博士課程修了
- 学位:工学博士 東京大学 ●専門分野:建築学(建築構法・建築生産)
- 略歴:1986年 東京大学工学部講師
- 1990年 同助教授
- 2006年 東京大学大学院工学系研究科教授
- 2018年 同特任教授
- 2023年 早稲田大学理工学術院総合研究所研究院教授

この間、ローマ大学、トレント大学、南京大学、大連理工大学、モントリオール大学、ラバラ大学客員教授、日本建築学会副会長を歴任。日本建築学会賞(論文・05年)、都市住宅学会賞(著作・08年,15年,16年)、日本建築学会著作賞(15年)等受賞多数。主な著書に「新・建築職人論」、「建築の明日へ」、「和室学」、「Open Architecture for the People」、「空き家を活かす」、「ひらかれる建築」、「『住宅』という考え方」など。



神戸芸術工科大学 総合プロジェクト「台湾と日本の学術交流」活動報告

2023年度4月から「台湾と日本の学術交流」をテーマに総合プロジェクト科目(通年)を開講しました。本学と樹徳科技大学の学部生、各10名が参加し、日台混合のグループで活動しています。両国の文化における「宗教」「食」「建築」「衣装」「民芸」について歴史的背景やデザインの成り立ち等を考え、グループで研究内容をまとめ、最終報告会で発表を行いました。



●前期は、現地調査の事前準備として、日本と台湾の見学地について各自が調査を行いました。9月1日(金)～5日(火)に渡台し、高雄・台南近郊を見学。また9月11日(月)～15日(金)には台湾学生が渡日し、関西圏を見学しました。台湾の学生と一緒に各見学地を回り、調査テーマについて両国の類似点や相違点について気付いたことを共有しました。現地での対話を通して、異文化コミュニケーションの楽しさと難しさを実感することができた派遣交流になりました。



●後期は、2月1日(木)～5日(月)に高雄へ現地調査に行きました。今回は調査テーマに基づき班ごとに見学地を選び、スケジュールを計画。その中で、衣装班は台湾の原住民パイワン族の衣装に使われる紋様に着目し、許春美先生の伝統織布ワークショップに参加しました。現地では伝統衣装の製造過程を学習し、デザインや紋様にはパイワン族の生活の知恵や文化が反映されていることを学びました。プロジェクトの最終成果物作成に向けて、多くの情報を得ることができました。2月18日(日)～22日(木)には樹徳科技大学の学生が再来日し、日本で調査を実施。最終日には発表会を開催し、班ごとに1年間のプロジェクトについてプレゼンテーションを行いました。



神戸芸術工科大学 卒展「カオス2024」を開催しました

学生の4年間の集大成である卒業制作展「カオス2024」を2月9日(金)～11日(日・祝)の3日間、兵庫県立美術館ギャラリー棟、原田の森ギャラリー、神戸ファッション美術館オルビスホールで開催しました。

作品展示、映像・映画上映会、学部・大学院の優秀作品の選抜研究発表会、ファッションプレゼンテーション(2/10)を行い、3日間を通じて約4,300名の方(受付集計)にご来場いただきました。それぞれの豊かな創造力や思考プロセスを経て、存分に個性を発揮した作品を大勢の方にご覧いただき、会場では学生と来場者が作品を前に話す姿も数多く見られました。



大阪商業大学

新型コロナウイルスも落ち着き、キャンパスに“平常”の景色が戻ってきました。そこで大阪商業大学の“現在”について、「国際交流」「研究所」「学生支援・課外活動」の3つのテーマでレポートします。

《国際交流》の展開

新型コロナウイルス感染症の流行以来、制限されていた国際交流活動を、少しずつ再開しています。ここでは、2023年度に実施した海外研修について紹介します。

「GETトライアル」「BP海外演習」

この科目は、海外研修と渡航前後の集中講義から成り立っています。国際理解を深めること、総合的な英語力を高めることを目的としています。

2023年度は、9月に4泊5日で韓国を訪問し、現地2大学の学生さんと交流を行いました。

湖西大学校では、両大学学生たちによる英語プレゼンテーションを実施。本学の学生たちは「立地」、「大学の魅力」、「日本のpop culture」、「大学生のリアル」について発表を行いました。食事会・交流会を通じて互いの国のエンターテインメントやSNSなどの話題をきっかけに、英語、韓国語や日本語を交えて交流を深めました。



東國大学校では、日韓両大学学生の混合チームが編成され、チームごとにソウルの主要地域を探訪し、地域活性化や地域再生プロジェクトを提案する課題に取り組みました。限られた時間の中で、拙いながらも話し合い、お互いの理解を深めながら素晴らしいプレゼンテーションを行いました。



「現代海外事情A」

この科目は、海外研修と渡航前後の集中講義から成り立っています。海外の習慣や歴史、ホームステイや現地での行動、語学研修において必要となる英語表現を学び、日本の伝統・文化について英語で発信することを目指します。

2023年度は、オーストラリアの東北部、クイーンズランド州ケアンズでホームステイをしながら、異なる国の文化に触れ、現地の語学学校に通いました。ホストファミリーとの生活や世界の各地から来ている人との交流という実践の場で、コミュニケーションの手段として英語を活用することにより、実践的な語学力の向上だけでなく、より一層の異文化理解と国際感覚を身につけることができました。



《学生支援・課外活動》の実践

学生生活を充実させるため、多様な経験と成長の機会を提供しています。学生たちは知識だけでなく、生涯にわたって学び続けるためのスキルや価値観を培っています。ここでは2例を紹介します。

学生間コミュニティ形成支援プログラム「デザートプレート作り教室」

大阪緑涼高等学校製菓衛生師コースから佐々木信治先生をお迎えし、色々なスイーツやカットフルーツを皿に盛り付けることで、ホテルやレストランで提供される本格的なデザートプレートに変身するような作り方を学びました。参加した学生は、佐々木先生手作りのスイーツに胸を躍らせつつ、試行錯誤しながらデザートプレート作りを熱中。体験後の交流会では、「いちご飴をもっと食べたい!」「マカロンが美味しい!」と満足げに自分が作ったデザートプレートを食べていました。(2024年2月2日(金)S-Café)



ボランティア部 布施警察署から2年連続で感謝状が贈られました

SNS配信による同世代への積極的な防犯広報や、高齢者や子どもたちへの防犯教室などを実施し犯罪の被害防止に大きく貢献したボランティア部の活動に対して、布施警察署から感謝状が贈られました。(2024年3月5日(火)布施警察署)



《研究所》の取り組み

生涯にわたって学び続けていく社会を支えるため、研究成果を社会へ還元していきます。ここでは3つの研究所の取り組みについて紹介します。

共同参画研究所

「誰もが役割と生きがいを持つ社会の醸成」を目指して、より良い地域づくりを目指した取り組みを実施しています。地域創造の担い手である中間組織(町会・自治体・NPO・企業・大学等の教育機関など)に関わる人々に社会的包括の重要性について認識を深めてもらうため、課題解決に向けた政策提言、人材の育成などに取り組んでいます。

主な研究分野は、「地域における子育て支援など児童に係わる分野」「高齢者の健康寿命など高齢者に係る分野」「障がい者と地域との関係構築など障がい者に係る分野」「男女共同参画に係わる分野」で、地方自治体と連携協定に基づく事業を推進しています。(包括連携協定締結自治体:四條畷市、東大阪市、藤井寺市)

●研究プロジェクト ※直近のもの

アクセシブルツーリズムの促進に向けた観光のオンライン化の可能性:高齢者施設におけるレクリエーションとしてのオンラインツアー導入の経緯と運用効果に着目して(2022~2023年度)



●公開講座 ※直近のもの

障がい者とともに生きる…(2023年度)

アミューズメント産業研究所

2001年に余暇活動に対する国民の関心の高まりを受けて誕生した、大学レベルとして日本初の余暇産業を研究する専門的研究機関です。

《2023年度イベント》 第21回特別展示『将棋の歩みー平安時代から令和までー』

古代から現代まで、1000年にわたって日本を代表する遊戯として多くの人々に親しまれてきた「将棋」。藤井聡太8冠の誕生で空前のブームが巻き起こる中、「第21回特別展示」を開催しました(11月18日(土)~12月23日(土)谷岡記念館1F展示室)。日本の将棋をテーマに歴史、文化、記録などさまざまな視点から取り上げて解説。展示は「将棋駒の歩み」「将棋界と将棋連盟の歩み」「将棋史研究の歩み」「将棋と芸術・文化の歩み」の4章で構成しました。



比較地域研究所

1997年4月、大学院地域政策学研究所開設に連動して、関西における地域学の中核を担うべくスタートした研究機関です。

《2023年度イベント》 第10回市民ビジネス講座『実践インドビジネス入門ー魅力と課題ー』

ニュースでは連日のようにインドについて報じられていますが、まだまだ知らないことも多い国。そんなインドでビジネスをすることの魅力と課題について、実務経験豊富な講師による講演とパネルディスカッションで構成する「第10回市民ビジネス講座」を開催しました。(11月18日(土)蒼天ホール)



大阪商業大学堺高等学校 「収穫感謝祭」を行いました (2023年11月25日)

本校では、授業の特色の一つに勤労教育があります。これは、農園で生徒たちが実際に作物を育て、収穫を行うことで、自然と触れ合いながら感謝の大切さを体験します。そして収穫した作物を「収穫感謝祭」を通して、豊かな収穫への感謝の気持ちを共有する素晴らしい機会です。野菜の即売会では、オープニング前から保護者や地域の方々の長蛇の列ができ、オープニングと同時に野菜が飛ぶように販売されました。さつまいも・大根・小松菜・菊菜・キャベツ・丸大根・ネギ・その他野菜15品目の野菜が即刻完売し、大盛況のうちに終了しました。生徒たちも、自分たちで育てた野菜を笑顔で買っていただくことに、大きな喜びを感じていました。また、勤労学習ではグループ学習もしています。各テーマに沿って調べた学習内容をまとめあげている姿は、いつもの教室で見える様子とは違う雰囲気があります。



大阪商業大学高等学校 ヒューマンライツ研究部の活動に ご注目ください！

現在ヒューマンライツ研究部は、2年生4名、1年生5名の計9名で活動しています。主なテーマは部活の名前にもなっている通り「人権」について考えていますが、部員が「SDGs」に興味があるため、現在はその活動に重点をおいています。17の目標を身近に感じてもらうために、校内展示のポスター作成をし、毎月3つずつ紹介しています。また、長期休暇を利用し、課題活動(フィールドワーク)を行っています。

令和5年度は、夏期・冬期・春期の3回課題活動を行いました。夏期と春期は目標12「つくる責任つかう責任」と「健康」について考え、「明治なるほどファクトリー関西」と「明治なるほどファクトリー大阪」へ行き、工場見学をしました。実際に見て体験することで、ものを大切に扱うことや責任を持つことの重要性を感じました。

冬期は、映画『パラサイト』を視聴し、貧困格差や文化に興味を持った部員たちは、課題活動場所に「鶴橋コリアンタウン」を選択し、資料館を訪れました。普段何気なく遊びに来る土地の歴史を知ることができ、校内でも広く認知してもらうべく、ポスター作成に励んでいます。

課題活動だけでなく、校内で多くの生徒にも「人権」に興味を持ち、考えてもらうため、2月28日(水)にあった「ピンクシャツデー」の取り組みに参加しました。校内の掲示板を使用し、いじめを撲滅するために、ピンクシャツを折って、メッセージを書き、飾りました。その結果、部員以外の生徒も多く参加してくれました。

このように、さまざまな取り組みを行い、生徒自身が興味を持ったことを中心に活動しています。これからも活動の幅を広げていく予定です。ぜひ、注目してください。



大阪緑涼高等学校 調理師コースが、 韓国高明外食高等学校と交流しました

2023年12月13日(水)、韓国高明外食高等学校の生徒が来校され、本校調理師コースの1・2・3年生と一緒に「うに肉丼」「伝統野菜のア・ラ・グレック」「木茸真蒸の吸物」を調理しました。教員からの指導や生徒たちからのアドバイスや交流を通じて、楽しく有意義なひとときになりました。

毎年、調理製菓科においての日韓交流事業が実践でき、お互いの生徒たちにとっても貴重な経験になっています。



大阪商業大学の組織変更について

令和6(2024)年4月1日、大阪商業大学は組織変更を行いました。

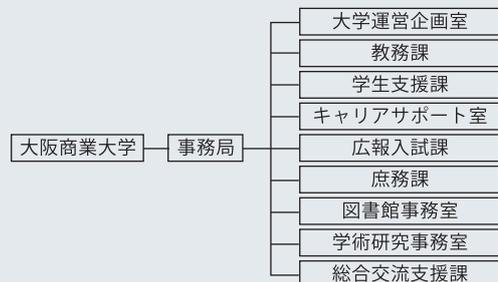
(1) 組織変更

【事務組織】

- ・「学長企画室」を「大学運営企画室」に名称変更する。
- ・「課外活動支援課」を「学生支援課」に統合する。

(2) 分掌変更

- ・庶務課の情報機器の取り扱いに関する業務を大学運営企画室に移管する。
- ・学生支援課の修学支援に関する業務を教務課に移管する。
- ・課外活動支援課の所管業務を学生支援課に移管する。



大阪商業大学附属幼稚園 70年の重さ

幼稚園は、令和6年度が創立70周年の年です。創立時の園児も今では白髪でしょう。人は、70年の間に様々なライフイベントがあります。結婚、出産、子育て、孫の誕生など、人生の節目があり、その都度大きく成長し、人として年輪を重ね、業績を蓄積していきます。

いまの幼稚園も、蓄積された業績のうえに成り立っています。この業績を糧に、成果を挙げられるよう、精一杯務めるのが「いま」を預かる者の使命だと考えています。10年、20年、その先に残る新たな業績を創るため、70年間の重さを感じながら教職員一同で取り組みます。



大阪商業大学 教育研究環境整備・学生支援寄付金事業のご報告

令和5年度 寄付者ご芳名

令和5年度にご寄付を賜りました方々のご芳名を掲げさせていただくとともに、厚く感謝の意を表します。誠にありがとうございました。

【企業・団体の部】

不二サッシ株式会社
有限会社マツダ

【個人の部】

西関 善次 原田 和充 西川 直亮
柿本 拓志 松田 謙二
篠山 和義

【理事・評議員、教職員等の部】

※敬称略・順不同 許可をいただいた方のみ掲載しています。

令和6年度谷岡奨学生決定

令和6年度谷岡奨学金奨学生として各校から次の皆さんが選ばれました。今後も文化・芸術、スポーツ、社会活動等各分野での皆さんの活躍を期待しています。



正賞

【スポーツ】

個人 寺田 和佳(ハンドボール)
大阪商業大学堺高等学校3年
●第17回女子ジュニアアジア選手権にて、女子U-20日本代表(LW:左サイド)として選ばれ出場

団体 新貝 梓・澤村 紗菜
大阪緑涼高等学校2年
●第14回全国和菓子甲子園 優勝



【文化・芸術】

個人 陳 静淵(ジュエリー)
神戸芸術工科大学大学院
総合アート&デザイン専攻(修士)2年
●Talente-Masters of the Future 2024 入選
●2023伊丹国際クラフト展「ジュエリー」入選

個人 上川 林太郎(映画)
神戸芸術工科大学 映像表現学科2年
●第3回 TYO学生ムービーアワード 金賞
●第15回 日本映像グランプリ 一次審査通過

団体 大阪商業大学堺高等学校
女子ハンドボール部
●令和5年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)ハンドボール競技大会 ベスト8
●第66回近畿高等学校ハンドボール選手権大会 3位

【文化・芸術】

個人 奥田 啓斗(ガラス工芸)
神戸芸術工科大学大学院
総合アート&デザイン専攻(修士)1年
●第61回日本現代工芸美術展 現代工芸新人賞

個人 南谷 桃花(まんが)
神戸芸術工科大学 まんが表現学科3年
●LINEマンガインディーズ月例賞23年1月期 銀賞
●マンガラボ! 大賞 部門賞

個人 平波 リりあ(書道)
大阪緑涼高等学校3年
●第57回弘法大師奉賛高野山競書大会 毎日新聞社賞
●第39回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会 日本武道館賞
●第32回国際高校生選抜書展(書の甲子園)入選
●第62回伊勢神宮奉納書道展 大会委員長賞
●第44回大阪府高等学校芸術文化祭書道部門 優秀賞

奨励賞



特別奨励賞

【スポーツ】

個人 渡部 聖弥(硬式野球)
大阪商業大学 商学科3年
●侍ジャパン大学代表に選出され、第44回日米大学野球選手権大会へ出場
●2023年度関西六大学野球秋季リーグ戦優勝時「ベストナイン(外野手)」として表彰

個人 本間 一志(ボクシング)
大阪商業大学 公共学科4年
●2023全日本ボクシング選手権大会 男子ウェルター級 3位
●第70回北海道ボクシング総合選手権大会 成年の部ウェルター級 優勝 「最優秀選手賞」として表彰

個人 丸元 大五郎(ボクシング)
大阪商業大学 公共学科3年
●2023全日本ボクシング選手権大会 男子ライト級 3位
●特別国民体育大会(燃ゆる感動がこしま国体)ボクシング競技成年男子ライト級 3位

団体 大阪商業大学硬式野球部
●第72回全日本大学野球選手権大会 ベスト8
●2023年度関西六大学野球春季リーグ戦 優勝
●第21回大阪市長杯争奪関西地区大学野球選手権大会兼第54回明治神宮野球大会関西地区第1・2代表決定戦 準優勝
●2023年度関西六大学野球秋季リーグ戦 優勝

団体 大阪商業大学堺高等学校日本拳法部
●第27回全国高等学校日本拳法選抜大会 男子団体競技 準優勝、女子団体競技 3位
●第68回全国高等学校日本拳法選手権大会 男子団体競技 準優勝
●第78回大阪総合体育大会日本拳法競技会 男子団体競技 優勝
●第28回西日本高等学校日本拳法選手権大会 男子団体競技 優勝

【スポーツ】

個人 上垣 煌(柔道)
大阪商業大学高等学校2年
●第45回全国高等学校柔道選手権大会 女子無差別級 ベスト16
●第72回全国高等学校柔道大会大阪府予選会 女子78kg超級 優勝
●第17回近畿ジュニア柔道体重別選手権大会 女子78kg超級 2位

個人 大枝 朱(柔道)
大阪商業大学高等学校2年
●第72回全国高等学校柔道大会大阪府予選会 女子63kg級 優勝
●第46回全国高等学校柔道選手権大会大阪府予選会 兼第65回近畿高等学校柔道新人大会予選会 兼第73回大阪高等学校柔道新人大会 女子57kg級 優勝

団体 大阪商業大学高等学校空手道部
●第43回近畿高等学校空手道大会 男子団体形 3位、女子団体組手(3人制) 3位
●第78回大阪高等学校総合体育大会空手道競技 男子学校対抗総合成績 3位 男子団体形 3位 男子団体組手(3人制) 優勝 女子団体組手(3人制) 2位



特別賞

【スポーツ】

団体 大阪商業大学空手道部
●第67回全日本大学空手道選手権大会 女子団体組手 5位、男子団体組手 ベスト16
●第64回全関西大学空手道選手権大会 男子団体組手1部 3位

【文化・芸術】

団体 神戸芸術工科大学 荻原研究室
●環境・設備デザイン賞「学生のための環境デザイン設計競技」2023 入賞

※各受賞者の戦績等は、一部抜粋して掲載しています。



定年退職者ご挨拶

2024年3月末をもって、
定年退職を迎えられた
教職員の皆様をご紹介します。

これまで学園の発展に
ご尽力いただき、
ありがとうございました！

教員

大阪商業大学
経済学部経済学科 教授

石上 敏



日本一と呼べる教育と研究の機会を設け、スタッフの皆さんに熱心に支えていただいたこと、ここでしか出会えない学生や地域の方々とのかけがえのない交流の場として、たくさんの思い出をいただいたことに心より感謝しております。とても幸せな28年間でした。ここからは返しの時間と考えて、一層の精進を重ねるつもりです。

教員

大阪商業大学
経済学部経済学科 教授

石川 雄一



私は7年前に本学に着任いたしました。コロナもあり、定年まで一瞬のように感じますが、多くの方々に支えられ無事に定年を迎えられたことを感謝いたします。30数年前、八尾市の実家を離れ、石川県と長崎県の大学を経て、本学に参りました。終の棲家を検討していたなか、故郷に戻れたこと、大変ありがたく感じております。

教員

大阪商業大学
総合経営学部経営学科 教授

太田 一樹



2020年4月に着任した時、コロナ感染予防のため、学内外の対応に苦勞したことを覚えています。その際、教職員の方々の温かく気遣いあるサポートのお陰で、授業や研究活動が継続できたことに感謝を申し上げます。本学が築いている素晴らしい組織文化の一端も知ることができました。今までのご恩に報いるためにも、微力ですが、尽力していく所存です。

教員

大阪商業大学
公共学部公共学科 教授

西岡 尚也



高卒後農家を継ぐ予定の私を、大学まで行かせてくれた両親には感謝しています。高校・大学教員となり大好きな地理学が学べて幸運でした。商大では12年間楽しく講義をさせてもらい、学生諸君や教職員の皆さんにはお世話になりました。今後の人生は世の中への恩返しとして、アジアへの教育支援を継続したいと考えています。

教員

大阪商業大学
総合経営学部経営学科 教授

村上 義昭



1981年に大学を卒業して金融機関に入社したときには、最後は支店長になれば良いなあといった程度の将来像しか思い描いていませんでした。当時の自分が、大学教員として勤めることを知ると、とても驚くでしょう。この40年余に出会った方々から多大なご厚情を賜ったことが、現在につながっています。改めて感謝いたします。

教員

大阪商業大学
経済学部経済学科 准教授

田崎 公司



26年間、本当にお世話になりました。図書館古本市や学内清掃作業(CC)等々、教職員・学生の皆さんと楽しい日々を過ごすことが出来ました。しかしながら最終年に体調を損ねてしまいました。沢山の方に多大なご迷惑を最後の最後までおかけしまして、お詫びの言葉もありません。最後に皆さんの御健康を心よりお祈り申し上げます。

教員

神戸芸術工科大学
芸術工学部映像表現学科 教授

本橋 秀之



10年間お世話になりました。いろいろな経験をさせていただき、無事に定年を迎えることができました。これまで大勢の卒業生を業界に送り出し、自分は教育に向いているのかなどと思います。業界で頑張っている卒業生と同じ土俵の上で、あと5年はアニメ業界で頑張っていきたいと考えています。ありがとうございました。

職員

大阪商業大学
学術研究事務室長

池田 治司



奉職37年間の内、ほぼ9割方の33年間を谷岡記念館という本学園のシンボルの建築物を拠点に仕事をさせていただき、誠に光栄でした。その間、商業史研究所事務室、比較地域研究所事務室、学術研究事務室と所属名称や職域は変わりましたが、そこで培いました経験は私にとって何よりの宝物であり、心より感謝申し上げます。

職員

大阪緑涼高等学校
事務長

田中 学



昭和61年4月から38年間お世話になりました。小阪キャンパス勤務時代には、アメリカ語学研修引率時に遭遇した9.11テロや阪神淡路大震災など様々な事件・事故・災害等に対応したことは忘れることができない経験となりました。すべてのキャンパスで勤務し、多くの皆様と出会ったことに心から感謝申し上げます。

職員

法人本部
総務課 サブ・マネジャー

霄 豊一



谷岡学園での学生・生徒、教職員の方々との多くの出会いや業務を通しての経験や体験は、私自身の大切な財産となっています。その時々では、皆様からのお力添えをいただいたお陰で、無事この日を迎えることができたことに感謝を申し上げます。今後の皆様のご健勝と学園の益々の発展をお祈り申し上げます。



それぞれの経験を糧に
新たなステージへ向かう
皆様のご活躍を祈念いたします。

学校・職位毎50音順

令和5年度卒業式・令和6年度入学式

おめでとうございます

	卒業式(学位記・卒業証書授与式)・卒園式	入学式・入園式
大阪商業大学	3月25日(月) 10:00 東大阪市文化創造館 卒業生 学部生1,119名、大学院生8名	4月2日(火) 10:30/13:30 東大阪市文化創造館 入学生 学部生1,227名、大学院生12名
神戸芸術工科大学	3月20日(水・祝) 10:00 吉武記念ホール 卒業生 学部生364名、大学院生45名	4月3日(水) 10:00/11:30 吉武記念ホール 入学生 学部生428名、大学院生44名
大阪商業大学 高等学校	2月21日(水) 10:00 体育館 卒業生333名	4月6日(土) 10:00 体育館 入学生363名
大阪商業大学 堺高等学校	2月16日(金) 10:00 体育館 卒業生381名	4月6日(土) 10:00 体育館 入学生331名
大阪緑涼 高等学校	2月22日(木) 10:00 体育館 卒業生217名	4月8日(月) 10:00 体育館 入学生186名
大阪商業大学 附属幼稚園	3月16日(土) 10:00 幼稚園プレイホール 卒園児46名	4月6日(土) 10:00 幼稚園プレイホール 入園児43名

NEW FACE

2024年4月から新たに谷岡学園の一員となられた、新任教職員の方々をご紹介します。谷岡学園でチャレンジしたいことや目標など、一言メッセージをいただきました！！

大阪商業大学
総合経営学部経営学科
教授
深沼 光
ふかぬま ひかる
OBPビジネス企画論
政府系金融機関での勤務経験のある教育に活かしたいと思っています。



大阪商業大学
総合経営学部商学科
特任教授
荒井 太郎
あらい たらう
企業法、商取引法
商社法務部で経験した「ナニワ金融道」のような授業を行いたい。



大阪商業大学
総合経営学部経営学科
特任教授
高橋 泰代
たかはし やすよ
簿記論
実るほど頭を垂れる稲穂、のようになることを目指しています。



大阪商業大学
経済学部経済学科
准教授
伊藤 敏雄
いとう としお
日本経済史 I
地域社会に貢献できるよう、大阪の研究と教育に努力いたします。



大阪商業大学
総合経営学部商学科
特任准教授
中田 智也
なかた ともや
英語 I A・I B
英語 II A・II B
専門は言語学です。「楽しく深い」英語の授業を目指します。



大阪商業大学
経済学部経済学科
講師
柴田 鎮毅
しばた やすたか
経済学特講義Ⅲ
貿易論
SDGsの実現に、何ができるかを考える人物を育成したいです。



大阪商業大学
総合経営学部経営学科
助教
浅井 希和子
あさい きわこ
経営組織論
経営管理論
現代の組織と人について学生と共に理解を深めたいと思います。



神戸芸術工科大学
学長
松村 秀一
まつむら しゅういち
芸術学特論B
若い方々が未来をひらいていくことに力になれば嬉しいです。



神戸芸術工科大学
芸術工学教育センター
准教授
アラル ケンザビ
あらる けんざびから
基礎英語(学部)、イングリッシュプレゼンテーション(大学院)
英語が社会対話のツールと感じられる授業を作りたいです！



神戸芸術工科大学
芸術工学部
生産・工芸デザイン学科
准教授
淡路谷 朋子
あわたに ともこ
テキスタイルデザイン
演習
テキスタイルの新たな価値を、みなさんと共に探っていきたくです。



神戸芸術工科大学
芸術工学部
ビジュアルデザイン学科
准教授
近藤 聡
こんどう さとし
グラフィック・コミュニケーション
学生とビジュアルコミュニケーションについて考えることが楽しみです。



神戸芸術工科大学
芸術工学部
ビジュアルデザイン学科
准教授
浜 章浩
はま あきひろ
広告・企画デザイン
人と人の心を繋げる人材の輩出に貢献できればと思います。



神戸芸術工科大学
芸術工学部
メディア芸術学科
助教
稲垣 宏
いながき ひろし
ゲームエンジン基礎演習
学生の皆さんと一緒に楽しく学んでいきたいです。



神戸芸術工科大学
芸術工学部
ビジュアルデザイン学科
助教
奥谷 奈津子
おくたに なつこ
WEBディレクション
既成概念に囚われず、夢を見続けられる学生を送り出したいです。



神戸芸術工科大学
芸術工学部
ビジュアルデザイン学科
助教
白玖 欣宏
はくましひろ
コンテンツ創成論
広告クリエイティブ論
大学に携わるからこそ、成果物を産み出せればと思います。



神戸芸術工科大学
芸術工学部
建築・環境デザイン学科
実習助手
井上 雅也
いのうえ まさや
芸工大で良かったと卒業させられるよう精一杯努めて参ります。



神戸芸術工科大学
芸術工学部
生産・工芸デザイン学科
実習助手
丹羽 真由美
にわまゆみ
毎日大切に！精一杯頑張りましょう！



神戸芸術工科大学
芸術工学部
メディア芸術学科
実習助手
広尾 伊津季
ひろおいつき
先生方や学生のお役に立てるよう精一杯頑張りたいと思います。



神戸芸術工科大学
大学院・芸術工学研究科
実習助手
水野 佑紀
みずの ゆうき
WEBディレクション
様々な学びが得られる環境作りをサポートできれば幸いです。



神戸芸術工科大学
芸術工学部
ビジュアルデザイン学科
実習助手
毛 春聆
もうしゅんれい
充実した大学生活を送れるよう精一杯サポート致します！



大阪商業大学高等学校
教諭
芝原 健
しばはら けん
英語
誠実に謙虚な姿勢で、感謝の心を持って躍進していきます。



大阪商業大学高等学校
教諭
西村 潤
にしむら じゅん
国語
嗜めば嗜むほど味が染み出る「するめ」のような人間になります。



大阪商業大学高等学校
教諭
福留 佑規
ふくとめ ゆうき
数学
今までの谷岡学園にいない様な新鮮な良い人材になります！



大阪商業大学高等学校
教諭
吉田 梨理子
よただ りりこ
社会
闘魂！



大阪商業大学堺高等学校
教諭
金澤 佳生
かなざわ よしお
理科
未知を楽しみ、学ぶことを愉しめる教員であり続けたいです。



大阪商業大学堺高等学校
教諭
川田 麟太郎
かわた りんたろう
社会、商業
谷岡学園の繁栄の為に精一杯頑張ります。



大阪緑涼高等学校
教諭
村田 兼吾
むらた けんご
数学
学びの楽しさを共有できる教員を目指します。



大阪緑涼高等学校
養成課程講師
木村 栄至
きむら ひでゆき
調理製菓科調理師コース
調理師コースの卒業生が多方面で成功し、わが校の名を世に知らしめたい。



大阪商業大学附属幼稚園
教諭
山科 摩倫
やましな まりん
笑顔とパワフルを心がけて、信頼して頂ける先生を目指します！



職員
法人本部
マネージャー
坪佐 清史
つばさ きよし
前職での経験を活かして貢献できるように努めてまいります。



職員
大阪商業大学
キャリアサポート室
柏木 郁海
かしわざい くりみ
学生が充実した生活を送れるよう努力します。よろしくお願いします。



職員
大阪商業大学
学生支援課
小島 采果
こはた あやか
たくさんの思い出ができる学園づくりに貢献できるよう頑張ります。



職員
大阪商業大学
広報入試課
小山 響生
こやま ひびき
仕事を楽しみながら学園発展のため精進して参ります。



職員
大阪商業大学
学生支援課
芝 夏美
しば なつみ
学生と保護者、教職員に寄り添えるよう努めてまいります。



職員
大阪商業大学
教務課
清水 勇
しみず いさむ
私と働けて良かったと思っています！ただけるよう頑張ります！



職員
大阪商業大学
庶務課
長澤 京汰
ながさわ けいた
学生の皆さんがより良い大学生活を送れるよう全力を尽くします。



職員
大阪商業大学
総合交流支援課
学生支援課
前野 友哉
まえの ともや
皆様に信頼してもらえるよう全力で頑張ります！



職員
神戸芸術工科大学
教務課
児玉 雄大
こだま ゆうだい
学生がより一層、力を発揮できる学園づくりに貢献します！



職員
神戸芸術工科大学
事業推進課
鳥羽 尚弥
とば なおや
一日でも早く、学園の力になれるよう邁進したいと思います。



職員
神戸芸術工科大学
キャリアセンター室
温井 旬
ぬくい しゅん
学校で働くことが初めてのなので職場の雰囲気になれることです。



職員
神戸芸術工科大学
広報入試課
藤本 大輝
ふじもと だいき
谷岡学園の学生が社会で活躍できるように全力でサポートします！



職員
神戸芸術工科大学
学生生活・国際交流課
山田 愛也
やまだ あや
一日でも早く「世に役立つ人物」になれるよう、日々精進します！



職員
大阪商業大学高等学校
事務室
松原 風子
まつはら ふうこ
初心を忘れず、一日でも早く貢献できるように日々精進します。



理事長



写真(左)の恐竜のようなシェイプは、ある不思議な特徴を持っています。このシェイプは平面を敷きつめることができるのです(写真右)が、その敷きつめは「決して周期的にならない」、つまりこの恐竜シェイプは「非周期のモノ・タイル」なのです。

それまでは2種のシェイプで、周期的にならないタイプがいくつかありました。ペンローズ・タイルもその例ですが、昨年ついに単独で非周期にしか並べられないタイルが見つかったのです。今回作った恐竜シェイプは、そのヴァリエーションのひとつにすぎません。詳しくは6月にブルーバックスで出版予定です(谷岡/荒木の共著)ので、興味ある人はそちらを買って下さい。5冊買えば読まずとも頭に入ります(ウソ)。



谷学グラン・ビジョン構想委員会

■学園ホームページに、「学園創立100周年記念ページ」を設置しました

2024年2月16日に設置した100周年記念ページでは、神戸芸術工科大学芸術工学部ビジュアルデザイン学科・花井仁哉さん考案の『記念ロゴマーク』と、メイン・テーマ「心の叫び GATEWAY TO THE FUTURE 信念、誇り、そして知的冒険へ」についての紹介、そして各種記念事業を実施・遂行していくにあたっての「谷岡学園Vision100コンセプト」の4つの柱について、それぞれ説明をしています。トップページ(<https://www.tanigaku.ac.jp>)に大小2つのバナーを設けていますので、ぜひクリックしてください。

■「100周年記念ポスター」を制作しました

『記念ロゴマーク』と、理事長直筆の“心の叫び”をクローズ・アップさせた『メイン・テーマのロゴタイプ』を組み合わせた「100周年記念ポスター」を制作しました。各設置校園及び関連会社に貼付していただいています。



学園創立100周年記念ページ

大阪商業大学

交通広告を「学園創立100周年記念バージョン」にリニューアルしました！

大阪商業大学が、近鉄各駅で展開している交通広告をこのほどリニューアルしました。学園創立100周年の記念ロゴや設置校園の情報を反映させた、情景豊かなビジュアルです。ぜひ、ご覧ください。



河内小阪駅



鶴橋駅

掲出場所

- 近鉄河内小阪駅 サインボード 奈良方面行 ホーム
- 近鉄布施駅 サインボード 3F奈良方面行 ホーム
- 近鉄鶴橋駅 サインボード 奈良方面行 ホーム
- 近鉄京都駅 デジタルサイネージ 改札内
- 近鉄阿部野橋駅 デジタルサイネージ 西改札外
- 近鉄大阪難波駅 デジタルサイネージ 東改札内外

■環境に関する取り組みについて

谷岡学園では、「エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律」にて、特定事業者(事業者全体で年間のエネルギー使用量(原油換算値)が合計して1,500kℓ以上を超えている事業者)として指定されています。特定事業者としての責務を対外的に示すため、2016年に「学校法人谷岡学園環境に関する取組み」を制定して、学園WEBサイトにも掲載しております。教職員の皆様におかれましては、ぜひ環境に関する取り組みへのご協力をお願いいたします。

■本学園における個人情報の取扱いについて

学校法人谷岡学園では、個人情報の重要性を認識し、これを保護するとともに、「個人情報の保護に関する法律」に沿って、適切に管理し、利用します。また、本学園は、保有する個人情報に対して、必要かつ適切な安全管理措置を講じ、個人情報の漏洩、滅失、毀損等を防ぐよう努めます。

個人情報の取扱いについての問合せ窓口
学校法人谷岡学園 法人本部 総務課 個人情報取扱係
TEL.06-6781-0384



学校法人 谷岡学園
TANIOKA GAKUEN EDUCATIONAL FOUNDATION

楽人について

「楽人」は、学園各設置校に所属する教職員の皆様に向けた広報誌です。学園の現在や将来の方向性、また、その時々目標や課題など皆様にとってさらに有意義な情報を共有できるコミュニケーションツールとなることを目指しています。

学校法人 谷岡学園 TEL.06-6781-0385
大阪商業大学 <https://ouc.daishodai.ac.jp>
神戸芸術工科大学 <https://www.kobe-du.ac.jp>
大阪商業大学高等学校 <https://www.daishodai-h.ed.jp>
大阪商業大学堺高等学校 <https://www.shodaisakai.ac.jp>
大阪緑涼高等学校 <https://www.osakaryokuryo.ed.jp>
大阪商業大学附属幼稚園 <https://www.shodai-kids.ed.jp>

学校法人 至学館 TEL.0562-46-1291
至学館大学 <https://www.sgak.ac.jp>
至学館高等学校 <https://www.shigakukan-h.ed.jp>
至学館大学附属幼稚園 <https://www.sgak-kg.jp>

■楽人Vol.72
発行日/2024年4月30日
編集・発行/谷岡学園 法人本部 総務課
編集長/谷岡 一郎 FAX.06-6787-3002
<https://www.tanigaku.ac.jp>
E-mail:tanigaku@oucow.daishodai.ac.jp